

第33回定期演奏会へ向けて

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年11月3日（月・祝）第33回定期演奏会

記事

午後3時集合。会場の準備、発声練習の後ゲネプロ。最初に伴奏付きのMusikalische Exequienを歌ってから、無伴奏曲を全曲通して歌いました。

5時半開場。6時開演。

第1ステージはシュッツの無伴奏曲5曲。

休憩後は最初に水野先生がオルガンでシャイトの曲を演奏されてから、シュッツのMusikalische Exequien。

アマデウスのOBの方々や、水野先生が指導されているそれぞれの合唱団からたくさんの方々が聴きにいらして下さり、差し入れのお菓子もいただいています。本当にありがとうございました。

演奏は、途中色々ありましたがなんとか止まらずに済みました…。

今年は臨時練習が1度もなかったので、来年は祭日に集中練習を入れる予定です。

終演後は片付けを済ませてから、昨年と同じ「タベルナイ」で8時15分から打ち上げ。

水野先生とチェロの伊藤さん、お手伝いをしていただいた渋混の両口さん・小林さん・大木さん、クリオラの吉川さんも参加して下さり、楽しく盛り上がりました。団員は繁松さん以外全員参加でした。

備考

5日の水曜日は練習はお休みで、新しい曲の練習は12日からです。曲はまだ全曲は決まっていますが、取りあえずバッハのモテット第2番のDer Geist hilft unser Schwachheit auf, BWV226から練習開始予定です。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年11月2日（日）

記事

今日は同仁キリスト教会礼拝堂での2回目のリハーサルでした。

オルガン搬入、そして明日の演奏会のための会場設定を済ませ、3時から発声練習。

3時半頃からリハーサル開始。通奏低音が入るMusikalische Exequienから。

食事休憩後に伴奏無しの5曲を練習して、早目に7時半過ぎに終わりました。

今日は全員出席でした！

冒頭へ

2014年10月29日 (水)

練習箇所

Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laesest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

Die mit Traenen saeen, SWV378

So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

Das ist je gewisslich wahr, SWV388

Selig sind die Toten, SWV391

記事

今日は同仁教会礼拝堂で第1回目のリハーサルでした。時間の融通がきく柿沼さん、大久保さん、そして辻村が5時半前後に集まり、キーボードや譜面台、その他を準備。

水野先生も5時半に来られ、チェロの伊藤恵以子さんも早くからいらしてスタンバイして下さっていたので、6時半を待たずに6時15分頃から歌い始めました。最初は第2テノール柿沼さん、第2アルト大久保さん、第1アルト堀江さん、第1ソプラノ辻村の4人でした！

Musikalische Exequienからリハーサル開始。ほぼメンバーが集まってから、強弱などの歌い方に関する先生からの細かい指示がありました。今日欠席または遅刻された方は、次のリハーサル時に確認して下さい。

SWV279

2番・・・8・9小節はフォルテ、10小節から最後までピアノ。

3番・・・フォルテ。

5番・・・フォルテ。59小節から最後にかけておさめます。

7番・・・フォルテ。

10番・・・最初はフォルテで始めます。130～133小節の上4声の部分はピアノ、133～136小節の下3声の部分はフォルテ、136小節のundからの下3声の部分はピアノ、139小節から最後まではフォルテ。

11番・・・ピアノで歌い始めます。162小節からフォルテ。175小節からまたピアノにして、182小節から最後までフォルテ。(要するにDas Blut Jesu Christi, des Sohnes Gottesの部分はピアノ、machtet uns rein von allen Sundenの部分はフォルテです。)

12番・・・曲を通してフォルテで歌います。

14番・・・ピアノで歌い始めます。263～265小節はフォルテ、265小節最後のvoller Muehseligkeitの部分はピアノ、267小節からの下3声はピアノ、270～274小節はフォルテ、続く下3声のvoller Muehseligkeitはピアノ、276小節からはだんだんクレッシェンドして、最後はフォルテで終わります。

16番・・・フォルテで歌い始めます。327～329小節はピアノ、次から最後までフォルテ。

21番・・・曲を通してフォルテ。

22番・・・フォルテで歌い始めます。477小節からはピアノで。

23番・・・ピアノで歌い始めます。514小節の第2テノールのwir muessenからフォルテ。519小節の第1テノールのallhierからピアノ。

25番・・・フォルテで歌い始めます。611～616小節はピアノにして、617小節から最後までフォルテ。

26番・・・フォルテで歌い始めます。633小節あたりからデクレッシェンド、635小節あたりからまたクレッシェンドして、最後はフォルテで終わります。

チェロの伊藤さんが帰られてから、アカペラの曲5曲の練習。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西

欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

先週の練習では、「これでは恥ずかしくて演奏会が出来ない…！」という状況でしたが、今日は「なんとかなりそうかも…!?」というところまでこぎつけました。本番前の練習は、11月2日(日)にもう1度リハーサルがあるのみです。発音はこれ以上どうにもならないので、せめてもう少し楽譜から目を話して歌えるように各自更なる努力をお願いします。

そしてくれぐれも体調管理をしっかりして、風邪をひいたりしないように気を付けましょう！

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年10月22日 (水)

練習箇所

Die mit Traenen saeen, SWV378

So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

Das ist je gewisslich wahr, SWV388

Selig sind die Toten, SWV391

Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

記事

発声個人レッスンは名阪さんでした。全体発声は22分。

今日は合唱団だけでの本番前の最後の練習でした。先週と同じく今日も演奏順に全曲通しました。2周目はMusikalische ExequienのNacket bin ich von Mutterleibe kommenの16番まで歌って時間になりました。

先週と今日は、演奏会前という事で曲順に通して歌い、細かい注意はありませんでした。先週は何とかなりそうかも…？と少しだけ安心したのも束の間、今日は大変残念な結果に終わってしまいました。先生はドイツ語の抑揚を考えながら指揮で色々表現したいのに、今日は皆がそれについて行ける状態ではなかったなので、先生は大変ガッカリされていました！

音が下がったり、発音がおかしかったり、リズムが違ったり、発音が悪かったり、色々ありましたが、各自自分の問題点を自覚して改善するように努力をお願いします。

今までの練習で先生に何度も注意された事や、この練習日誌にも何度も書いて来た事が未だになおっていなかったところがたくさんありましたが、最も気になった個所だけ書いておきます。

SWV279

9番・・・106小節は少しだけテンポを緩めますが、その次の小節からはもとに戻るので、アルトの入りはきっぱりとした口調で入って下さい。

15番・・・第2テノールの入りに注意！ ここから新しいフレーズが始まるので、慌てずにその前の302小節で第1テノールが歌い終わるのを待ってから入って下さい。歌い始めてからは、リズムに注意。勘違いしていませんか？ タンタターンです。一拍目に第2テノールが出て、半拍遅れて第1テノールが出たあとは、両方とも同じリズムです！

24番・・・556・557小節の休符を数え間違えないようにお願いします！

25番・・・erstandenのer-は前綴りのer-なので、単独のerとは発音が違います。長母音のようなイに近い発音にしないで下さい。ドイツ語の発音の基本です！ この言葉だけではなく、他にも時々前綴りのerの発音がおかしかったので要注意！

26番・・・ich lasse dich nichtのdichのchを省略しないで下さい。
特に41ページの3声の部分！

SWV280・・・8小節の第2テノールの入りの音に注意！ CではなくCisです！ #が取れてしまうと、長調が短調になってしまいます！

どの曲でも、uの発音がまだ平べったくになってしまう人がいるので気を付けて下さい。
U-ウムラウトの発音にも注意！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 片岡 柿沼
バス：大庭 中西 山村
欠席：1人(テノール)

備考

来週は発声個人レッスンはありません。
6時から水野先生とチェロの伊藤先生の合わせがあり、そのあと、発声練習なしでリハーサルに入ります。

2014年10月15日（水）

練習箇所

本番の演奏順に全曲

シュッツ：

Die mit Traenen saeen, SWV378

So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

Das ist je gewisslich wahr, SWV388

Selig sind die Toten SWV391

Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は9分！

★SWV378

46ページの最後・・・erntenの語尾の方が大きくなるように。

47ページは深刻に、重く進めたいので、テンポ通りには行きません。指揮を見て下さい。

★SWV391・・・143ページ3小節目のund ihre Werkeからは優しい口調ではなく、はっきりした口調で歌って下さい。

最初のSeligなど、長い音符は自然に膨らませて下さい。この曲だけではなく、全ての曲で長い音符を自然に膨らませるように心がけましょう。

★SWV279

9番・・・しっかりした口調で歌い始めます。106小節は少しだけテンポを緩めますが、107小節からはすぐにテンポを戻します。

10番はフォルテから入ります。

12番・・・196小節の最後の語尾は外切りにして、次の四分休符にかかるくらいに長目に歌います（次のdie Suendまで文章が続いているので）。逆に197小節のSuendは同じ2分音符ですが、次にコンマがあるので、短めに歌います。

14番・・・275小節の終わりは内切りにして下さい。276小節から最後までフレーズは強い口調で歌います。

23番・・・アルトの入りの音に注意！ 前の曲の最後の和音から音がとれるように練習しておいて下さい。514小節からのwir muessen alle sterbenの部分は、前の部分と雰囲気を変えて、しっかりとした口調で歌います。519小節のallhierからはまたもとに戻して下さい。

★SWV280

第1コーラスと第2コーラスが交代する時は、テンポを緩めずに畳みかけるように入ります。

★SWV281

Friedenは長い音なので膨らませますが、そのためには最初が入りが大き過ぎないように。Friedenの語尾はおさめますが、音量を落とし過ぎないように。

12・24・27小節のバスは四分音符を充分に保って歌いましょう。3拍目から4拍目に行く時が特に急いでしまうので気を付けましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村

全員出席でした！

備考

来週の発声個人レッスンは名阪さんです

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年10月8日（水）

練習箇所

シュツツ：Die mit Traenen saeen, SWV378

シュツツ：So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

シュツツ：Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

シュツツ：Das ist je gewisslich wahr, SWV389

シュツツ：Selig sind die Toten, SWV391

シュツツ：Musikalische Exequien

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

記事

発声個人レッスンは黒田さんでした。全体発声は19分。

SWV378

werdenのeは、ィになり過ぎないように。

SWV379

52ページ最後の小節1拍目の～kenは、第2ソプラノ・アルト・テノールの3声と同じタイミングで言えるように。次のdennはもっと強調して下さい。53ページと54ページの下3声で歌う部分で、テンポが揃わない事があるので聴き合って歌いましょう。

54ページ2段目のバスの入りの音を正確にしっかり歌いましょう。テノールと第1ソプラノも同じAの音を出しています！

SWV387

4小節の第2テノールは走らないように。付点4分音符から8分音符へ行くのが早過ぎます。

1番の歌詞の5小節の「オー」が、まだ時々「ヨー」になるので、気を付けましょう！ 次のページの下段も同じです。

先生はIch bitt, wollst sein von mir nicht fernの部分のテンポを少し速めていますので、指揮をよく見ましょう！

SWV388

最初の出はアルトだけです。しっかり、そしてきれいにいきましょう。時々バラバラに聞こえます。3拍子の部分は、もっと喜びの気持ちを表現しましょう。

113～115ページのdie Suenderの言葉の抑揚がまだおかしいです(男声)。dieのあと、少し隙間をあけて下さい。Suenderの語尾の~derは軽く歌います。今は語尾の~derの方が強過ぎ(長過ぎ)ます。前にも先生から指摘を受けていますし、今日も先生からの指摘のあとあまり変わっていませんでした！ U-ウムラウトの発音が「ズ」にならないようにお願いします。

SWV391

nun、ruhenのuが浅くならないようにお願いします。長い音符をuで延ばしているの、特に目立ちます！ 曲の最後の言葉はnachです。最後にtが入ってしまう人がいるので注意しましょう！

SWV280

最初は荘厳に歌い始めます。

24小節からのso frage ich nichtsのichは、子音のchをちゃんと発音しましょう。

30小節の第2テノールは、まだ音が正確ではありません！ AからDに下がり切らずに、途中の音になっていませんか？ その部分だけ練習して出来ても、4声で歌うとまた違った音に戻ってしまっています・・・。

duのuが浅くなってしまう人は、目立つので注意しましょう！

SWV281

73・74小節の第1テノールは、時々音程がはまっていないので要注意！

121小節のバスのHの音程に注意。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 片岡 柿沼
バス：大庭 中西 山村

全員出席でした！

備考

来週10月15日の発声個人レッスンは、柿沼さんです。

プログラム用に先生が書いて下さったプログラム・ノートと対訳のコピーを配布しました。

男声の練習

10月11日(土)・・・大庭(13時)

中西(15時)

10月12日(日)・・・大庭・中西・山村(16時)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年10月1日 (水)

練習箇所

シュツツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

シュツツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391

シュツツ： Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 1～27番(全曲)

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は24分。

★SWV387

Herzlich liebの付点4分音符+8分音符の歌い方に注意。付点は延ばし過ぎず、少し隙間をあけます。2番の歌詞のes ist jaも同じ。esとistの間は隙間をあけ、istも慌てずしっかり発音します。

第2テノールは1番の歌詞の5小節目の終わりの言葉‘o’が、どうしても‘jo’になってしまいます。その前のdichのあとのコンマをちゃんと入れて、新しく‘o’と歌いましょう。

102ページの下の段の2小節目から3小節目へ移るところも同じです。

3番はきつくならないように柔らかく歌い始めます。

3小節目の第1テノールと第2テノールは同じリズムなので、付点4分音符から8分音符に行くタイミングをお互いに合わせて下さい。108ページの最初も同じです。1番・2番の同じ個所も同様をお願いします。

★SWV388

最初のページの最後から3小節目の第2テノールのFisが上がり切っていません。次のGisも。そのあたりの音の長さを数え間違えないようにお願いします。

113ページから出て来るSuenderの発音と抑揚に注意。母音(U-ウムラウト)を長目にして、そのあとにnを言うようにします。-derにアクセントが付かないように。

117ページの男声3重唱は、未だに言葉がちゃんと歌えていません。何度もリズム読みしてスラスラ言えるようにして下さい。そして音符一つ一つではなく単語単位で、言葉の抑揚を考えてドイツ語を話すように歌いましょう。今はnehm・lich・Je・susとか、er・zei・ge・teとか、zum・ex・em・pelとか、die・an・ihn・glau・benのように切れ切れに聞こえます。

sollenのoは明るいoです！ zumのuは浅くならないようにお願いします。

最後のページ下段2小節目後半のバスは、朗々と歌い始めて下さい。

SWV279

通しました。

27番・・・667小節第2テノール2拍目の音はDです。Eになっているので確認して下さい。前にも先生から指摘があったと思います！

SWV280

8小節目第2テノールの出だしの音が正確ではありません。＃が取れかかっている事があるので、高めに入りましょう。

30小節第2テノールの3拍目のDが取りにくいようです。これも前に何度か先生から指摘がありました。正確をお願いします。

37小節第2テノールの出だしの音も安定していません。下のEの音を正確をお願いします。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼
バス：山村
欠席：4人(アルト1人、テノール1人、バス2人)

備考

来週の発声個人レッスンは黒田さんです。

※アカペラの曲はSWV番号順に歌いますので、コピー譜は各自製本しておいて下さい。

男声練習予定

10月4日(土)・・・小沢(1時)

10月5日(日)・・・翁長・柿沼(2時)
山村(3時)

10月11日(土)・・・中西(3時)

10月12日(日)・・・中西・山村(4時)

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年9月24日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 1～27番 (全曲)

シュッツ： Die mit Traenen saeen, SWV378

シュッツ： So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

シュッツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。

★SWV279

8番(Intonatio)・・・

第1テナー 出だしのGの音は前の曲から音を取り辛いようですが、慎重をお願いします。

9番・・・

106小節は一旦収めて、107小節のアルトから新たに始めます。

10番・・・

127小節 第2テナーの'und' から始まるフレーズはパートソロのため特に目立ちます。発音、発声に気をつけてドイツ語の'u'に聴こえるよう意識しましょう。

11番・・・

166小節、182小節 第2テナー 'machtet uns' 四分音符+八分音符の部分が走る傾向にあるので、慌てずしっかりと歌いましょう。

12番・・・

195小節のハーモニーが綺麗に決まるよう各パート意識しましょう。特にバスの音程が定まりません。各自確認をお願いします。

201小節 'Himmel' の語尾は曖昧な母音です。「メル」とは歌わないで下さい。

14番・・・

267～269小節 男声三重唱のハーモニーが決まりません。

出だしの音を取り辛そうですが、直前に女声が出している音と全く一緒です。

低い音域ですがそれぞれ同じ音を歌っているパートを聴いてしっかり歌い出しましょう。

268小節 第2テナーのEの音はしっかり上がります。

269小節 'Streit' 「ストライト」にならないように、「シュ」の子音をしっかり発音しましょう。

18番・・・

365～368小節 バスのこのフレーズはパートソロになります。言葉をはっきり聴こえるように歌いましょう。

367小節は今回何度も練習して頂きました。このような時間はもう取れませんので、リズムをきちんと取れるよう各自で練習をお願いします。

20番・・・

419小節 バスの出だしのFの音が安定しません。通奏低音から音を取れると思います。各自確認をお願いします。

21番・・・

女声 出だしの'Er' は低い音域ですが、あまり力まず柔らかく出しましょう。

その後の'Heil' ははっきりと明るく。

22番・・・

477小節の1拍目は休符です。伴奏が先に出ますので、裏拍から入ります。

今回先生は止めずに流されましたが、伴奏と一緒に表拍から歌い出してしまいました。今一度確認をお願いします。

第2バスの488小節も同様です。

★SWV378,379,387

通して歌いました。

先生は特に止めませんでした。

SWV379の練習番号eからはそれまでの雰囲気とはガラリと変えて柔らかくpで入ると以前ご指示があったと思います。

テナーの入り (P.52 上段3小節目と最後の小節 'So schlaf') は明らかに大きすぎますので楽譜へ書き込みをお願いします。

また、SWV387 1番の歌詞の冒頭、第2テナーの'hab ich dich, o hell, 'の'o'がどうしても「ヨー」になってしまいます。

'dich'の後はカンマですので言葉を切って'o'を言い直して下さい。ここはとても目立ちます。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 山村

欠席：2人(ソプラノ1名、バス1名)

備考

・最近、繰り返し「ドイツ語として聴こえるように」との指摘を受けています。指揮も均等の拍ではなく、言葉のニュアンスで微妙に揺れています。なるべく楽譜から顔を上げて指揮を見れるよう各自心掛けて下さい。

・前回の練習報告に辻村さんから男声個人練習のご案内がありました。第2テナーとバスのメンバーは必ず1人1回以上参加して下さい。第1テナーも可能であれば参加をお願いします。次回練習にて各自辻村さんと個別に日程調整をお願いします。

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年9月17日（水）

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 22～27番
Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280
Herr, nun laesest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391

シュツツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

今日はいつもの2階ではなく、3階での練習でした。
発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は24分。

★SWV279

22番・・・unser、und等のuの発音が浅くならないように。siebenzig、achtzigのziはズィではなく、ツイです。koemmtのO-ウムラウトは、ウムラウトがなくなって「コ」になっていたり、エに近付け過ぎて「ケ」になっていたり色々あるので、先生の発音を良く聴いて全員正しい発音が出来るようにしましょう！
MuehのU-ウムラウトも色々で、「ミュー」だったり、ウムラウトがとれて「ムー」になっていたり……。くれぐれも先生の発音を真似て下さい！

23番・・・elendの最初のeは長母音です。少しだけ「イ」に近付けて下さい。アクセントは最初のeにあります。14小節の第2テノールから始まる各パートのwir muessenからは口調を変えて下さい。

24番・・・566小節からの部分で、二分音符が3つ並んでいる小節は3つ目の音が長過ぎないようにお願いします(werdeの-deとmeinemの-nem)。

25番・・・最初のWeilのWをしっかり発音しましょう。596小節のduのuが浅くならないようにお願いします。長い音なので目立ちます！

26番・・・629～631小節、635～638小節のlasse dich nichtのdichのchが無くなってdinichtに聞こえます(特に男声!)。
639小節から最後までduの発音が浅くならないように注意しましょう！

27番・・・658小節のselberの語尾が目立たないように。アクセントは最初です。
665・666小節のUnschuldのuが浅くならないように。667小節のSuendのU-ウムラウトの発音が「ズンデ」になら

ないように。アクセントは最初です。語尾を延ばさないように。668小節から最後までbist duはつなげずにduをはつきり歌いましょう。そのためには付点を短めにすると、tもdも両方発音出来ると思います。

★SWV280

30小節の第2テノールは音を正確にお願いします！

50～52ページまでの間に何度も出て来るduの発音に注意しましょう！

★SWV281

最初のIntonatioのnunとduのuの発音が浅くならないように注意しましょう！ 本番も第1テノールが歌うので、よろしくをお願いします。

★SWV391

第1テノールの出だしはnが入らないようにお願いします！ 上段最後のバスのFisの音が上がり切っていません！

次のページの2段目も同じ状態でした。Fの音符の左に#を書いておいて下さい！ 141・142ページのnun、ruhenのuの発音に注意！

最後のページは、und ihre Werke或いはfolgen ihnen nachのフレーズが各パートに出て来る度に盛り上がり、そのまま曲の最後まで行って下さい。

★SWV387

通して歌いました。4小節目の第2テノールのFisが上がり切っていません。#がなくなってしまうように、Fの音符の左に#を書いておいて下さい！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西 山村

5週間振りに全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

9月24日(水)・・・大庭(アルト)

10月1日(水)・・・大久保

合唱団のみでの練習は残り5回ですが、今日の練習の状態ではだいぶ心配な状況です！ 発音(O-ウムラウトやU-ウムラウト、uや長母音のe等)、言葉の抑揚、音程、リズム、発声、その他色々な事が未だにクリア出来ていない状態だという事を認識して、各自一層の努力をお願いします！！ 発音でも声の出し方でも、わからない事がありましたら練習中でも構いませんので、どんどん先生に質問して下さい。わからないままにしておくと、いつまでも同じ状態です！

ちゃんと歌えているつもりの人でも、音や発音の見間違い等がないか、楽譜を良く見て再確認をお願いします。そして各自体調管理もしっかり行い、全員元気で本番を迎えられるように頑張りましょう！

※ 先生は臨時練習(特に男声!)の必要性を感じておられますが、先生の空き時間はありません。そこで私(辻村)がお手伝いしたいと思います。私は10月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)・13日(月・祭)の休日が空いていますので、皆さんのご都合の良い日に1度(もちろん何度でも!)男声パートの自主練習をしませんか？ 一人づつ苦手な箇所をクリアするような形でも良いと思いますし、何人か一緒でもどのような形でも構いませんので、是非練習しましょう！

2014年9月10日 (水)

練習箇所

- シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 13～27番
- シュッツ： Die mit Traenen saeen, SWV378
- シュッツ： So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379
- シュッツ： Selig sind die Toten, SWV391

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は30分。

★SWV279

14番・・・Angst, Not und Truebsal ueberallは、3小節間をブレス無しでつなげて歌います。(上3声は257～259小節、下3声は260～262小節)

269・281小節のStreitの最初の3つの子音をしっかり前に出して発音しましょう。

23番・・・514小節のwir muessenから強い口調で。

26番・・・全体に元気よく。633小節あたりから635小節に向かってだんだんデクレッシェンドしておさめ、635小節半ばからまた盛り上がり、637小節が山になるようにします。

27番・・・力強く確信に満ちて歌いましょう。最後は喜びに溢れて終わります。

★SWV378

6週間振りに歌いました！

(c)からのアルトはメロディーなのでしっかり歌いましょう。45ページ最後のHから次のページ最初のCに移る半音の幅が狭過ぎます。Cはもう少し高めをお願いします。TraenenのA-ウムラウトは暗くならないように、もっと明るく発音しましょう。

★SWV379

この曲も6週間振りでした。

52ページの(e)に入る前はおさめて、(e)のテノールから新しく静かに歌い出します。

(g)の前は収めず、歌い切ってください。

53ページ上段の終わりの方から曲の最後まで何度も出て来るfuehren zumのところで、-ren zumの二つの8分音符が走らないようにしましょう。そのためには-renの最後のnをしっかり発音して、zumに入る前に突っ込まないで言い直してから入るようにしましょう。

★SWV391

5週間振りでした。

(e)からは躍動的な部分と静かな部分が交互に出て来ます。(e)のJa, der Geist spricht、

(h)(l)のund ihre Werke folgen ihnen nachは元気に、(f)(g)、(i)(k)のsie ruhen von ihrer Arbeitは静かに歌います。

die in dem Herrenのdemは、ディムになり過ぎないように。dieは歌い過ぎずに、裏拍なので軽く歌い、Herrenに重さが来るように歌いましょう。

nun、ruhenのuの発音が浅くならないように気を付けましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
欠席：2人(ソプラノ・アルト各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
9月17日・・・堀江
9月24日・・・大庭(アルト)

先週、定期演奏会のチラシとチケットが配布されましたが、チケットの開場・開演時間が間違っていましたので、各自で訂正してから聴きに来て下さる方にお渡し下さい。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年9月3日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 8～12番
シュッツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは大庭さん(バス)でした。全体発声は37分。

★SWV279

9番・・・alleの二つのlをしっかり発音しましょう。glaebenのglは充分前に出し、直前のihnのすぐあとに付け、ihnglくらいのつもりで発音し、次の拍の頭は母音から始まるようにしましょう。verlorenのoと、werdenの最初のeは長母音です。oは暗めに、eは少しだけ「イ」に近付けて下さい。

106小節のあとは、リタルダンドまでは行きませんが、少しだけテンポをおとっておさめ、次の小節のアルトから新しく歌い直します。

10番・・・sprachの最初の三つの子音sprをしっかり発音しましょう。特にspはカタカナのシュプにならないように。liebenのlもしっかり発音しましょう。SohnのSoは長母音です。oは暗めに長く。Soは、Zoに聞こえないように注意しましょう。hinのiは日本語のイのように口を横に開かないように。werteも長母音です。KronのKは充分前に出して下さい。seiがzeiに聞こえないように注意。

131小節のihnは、inに聞こえないようにテヌートして長目に。133小節のNotは長母音です。暗めに発音しましょう。次のerwuergのerは前綴りのerなので、長母音にしないように。ほんの少しでも「イ」の要素は入れないで下さい。U-ウムラウトの部分にアクセントがあるので、もっと強調して下さい。bitternはbiにアクセントです。時々ternの方にアクセントが付いたり、両方に付いたりしているので気を付けましょう。Todのoは長母音なので、暗めに。

11番・・・Sohnesのoは長母音なので、暗めに。allenの二つのlをしっかり発音しましょう。

12番・・・最初のDurchは喜びに満ちて力強く歌いましょう。

途中、197小節の1拍目に休止符がありますが、そこが切れ目ではなく194～197小節までの4小節間は意味が繋がっていることを意識して歌って下さい。そのあとdie Suendのあとのコンマでプレスして、198小節から新しく歌い出します。oとgrosseのoは長母音なので、暗めに。grosseのgrはたっぷり前に出して下さい。

★SWV387

前回、前々回と一生懸命練習したので、今日は復習のつもりで歌い始めましたが、結局また細かい練習になってしまいました…。

第1節・・・前回は前々回も指摘がありました。最初のHが強過ぎます。特に男声！ 歌い出す前に口を開いておいて、力まずに自然に歌い出すようにしましょう。

4小節最後の第2テノールのhabからの言葉が、いつもうろうろしてしまっています。この部分は題名と同じなので、題名が頭に入っていれば自然に言葉が出て来るはずですが…！？

102ページ上段のHuelfのlをしっかり発音しましょう。GnadeのGを充分前に出して下さい。104ページ最初の小節のfrag とichはつながらないように。104ページ下段のZuversichtのu の発音が浅くならないように注意しましょう。

105ページ3小節目のTroostのoは長母音です。暗めに発音しましょう。BlutのBlをしっかり前に出して下さい。

第2節・・・4～5小節にかけてのHerr, dein Gschenk und Gabがすんなり読めていません。字体が読みにくいのだと思いますが、読みやすいように書き直すなり、各自で工夫して下さい。

103ページ(e)の部分のLobeのoは長母音です。暗めに発音して下さい。103ページの終わりの三つの言葉zu Nutz undは、全てuの母音が含まれています。uの発音が苦手な人には歌いにくい箇所ですが、平べったくならないようにお願いします。(f)の部分のLehrとwehrのeは長母音です。少しだけ「イ」に近付けて下さい。105ページ最後の方から出て来るTodesnotのToとnoのoも長母音です。暗めに発音しましょう。

第3節は時間の都合で通すだけで終わりました。

この曲ばかりに時間をかけられないので、少なくとも今日練習したところは絶対に忘れないようにしましょう。合唱だけでの練習はあと7回しかありません！ お互いにもう少しずつ努力して頑張りましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西

欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大友さんです。

11月の定期演奏会のチラシとチケットが出来ました。

今日欠席された方は来週受け取って下さい。

演奏会の負担金も期日までに振り込みをお願いします。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年8月27日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 1～7番

シュッツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は26分。

★SWV280、281は通しました。

★SWV279

2番・・・gegeben、genommenは、第2シラブルにアクセントがあるので、もう少し強調して下さい。gegebenのge-とgelobenの-loは長母音です。-ge-は少しだけイに近付け、-lo-は少し暗めに発音しましょう。

3番・・・Vater im Himmelはワンプレーズで。erbarmのerは前綴りのerで、長母音ではありませんので発音に注意！ ueberのU-ウムラウトは、もっと口を前に突き出すと上手に発音出来ると思います。

5番・・・erbarmは3番と同じで、er-の発音に注意。

6番・・・soのoは長母音です。もう少し暗めに発音しましょう。oderも同じです。最後から2小節目のアルトの最後の音は、CからCisに変更されていますので注意しましょう。

7番・・・やはりerbarmのer-の発音に注意。

★SWV387

第1節・・・最初のHerzlichのHeは、力が入り過ぎてCheにならないように！もう少し穏やかに出しましょう。liebを丁寧に歌い直しましょう。liebの最後のbをはっきり。und Gnadeは、undを言った後すぐにundgくらいにGを前に出し、次はnadeのような感じで歌うと丁度良いでしょう。

103ページ最後の小節の第2テノールの最後の音を正確に。次のページ最初の音も！(f)のHerz zerbrichtは、zが続きますがHerzのzを早目に切り、次のzer-をしっかりと言いましょう。Zuversichtもしっかり発音しましょう。BlutのBも前に出してしっかりと歌いましょう。erloestのO-ウムラウトは、口を前につき出して発音しましょう。GottのGが鼻濁音にならないように！

第2節・・・101ページのGschenkのGを前に出して下さい。104ページ最初のDienstは短くならず四音符いっぱい歌って下さい。次のNaechstenのNaeも長く。日本語で書くと「ネ」ではなく、「ネー」です。GnadeのGをもっと前に出して発音しましょう。103ページ最後の第2テノールの音は、第1節と同じでHの音が聞こえて来ません。104ページのgeben、Lehr等は長母音です。少しだけイに近付けて下さい。Satansの最後のsを忘れないように。geduldiglichのlichの前のgは、日本語で書くとすれば「ク」です。時々「ヒ」が聞こえてきます。

第3節・・・最初のAchのAは明るく。Liebeの最後のeと Engleinの最初のeが繋がってしまわないように。(e)のgarのgが鼻濁音にならないように。sanftは短くならないようにたっぷり歌いましょう。ohnは長母音です。oは暗めに。ruhnのuは平べったくならないように。最後のページのerhoereのO-ウムラウトはもっと口を前に突き出して発音しましょう。くれぐれも日本語の「へ」にならないように。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西 山村

欠席：1人(ソプラノ)

備考

来週の発声個人レッスンは大庭さん(バス)です。

♪ 11月3日の定期演奏会のチラシとチケットは、来週配布されます。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年8月20日 (水)

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laesstest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュツツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

シュツツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。全体発声は32分でした。

★SWV280

Herrは輝かしい声で。次のwenn ich nur dichはレガートではなく、四分音符一つ一つ(特にichとdich)をしっかり歌いましょう。48～49ページに出て来る「Himmelのiは短母音なので、長母音のiよりも後側で歌いましょう。nachは母音を長目に。カタカナで書くと、「ナッハ」ではなく「ナーハ」です。

33小節と35小節の1拍目のnichtsは、第1Chorも第2Chorも子音を言い切ってください。それぞれ次の相手のChorの出に引っかからないように注意。

42～49小節にかけて出て来るmirは、母音を長目に。カタカナで書くと「ミアー」ではなく「ミーア」です。

50～52ページに出て来るduは平べったくならないように。デューに聞こえないように。

67・71・81・85・89小節等、8パートの縦の線が揃っている箇所は意識的にフォルテで歌いましょう。59小節も同じ。

★SWV281

2小節目のFriedenの最初の子音Frは、前の小節の最後に言う感じで前に出します。

16小節から次々に出て来るwie du gesagtの歌い方に注意。四分音符を全部同じように歌わず、duを長目にgeは軽く歌い、それに続くsagtの子音を前出しします、次のhastは強くならないように。90～97小節は2小節毎ではなく、4小節をひとまとめにして歌います。

★SWV388

やはり発音が気になります！ 水野先生の言葉をお借りすると「訛り」が目立ちます！

??の部分のSuender、unterは毎回のように指摘されていますが、相変わらず語尾が強くて長過ぎて日本語の「ダー～」、「ター～」になっているのが目立ちました(特に男声)。アクセントは語頭です。喋る抑揚で歌えば、語尾が強くなる事はないはずですが…。

die Suenderの三つの四分音符は真ん中のSueの部分に重さが来なくてはいけません、まるで最初のdieと語尾の-derが重要なように聞こえます。dieは伸ばし過ぎずに軽く歌いましょう。(これも前に指示がありました!) 「ディー」よりも「ディ」に近くして、次の言葉の子音Sを前出しします。SuenderはU-ウムラウトに強いアクセント、語尾の-derは目立たないように曖昧に呑み込み、添える程度に歌えましょう行くはずですが…!?

unterもSuenderと同じで、最初のuに強いアクセントを付けて歌い、語尾の-terは軽く曖昧に添える程度に歌います。-derも-terも、単語の語尾はくれぐれも目立たせないで下さい!

?の部分のfuernehmsteのnehは長母音ですが、「イ」の要素が多過ぎて日本語の「ニ」になってしまわないように注意しましょう。?の部分は少し抑えて歌い、?でフォルテに戻します。

★SWV387

2番の歌詞の最初Es ist jaはレガートで歌わず、三つの言葉を一つずつ喋る抑揚で歌いましょう。この曲は今日は時間切れで少ししか練習出来なかったのですが、来週しっかり練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 中西 山村
欠席：1人(テノール)

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さんです。来週以降は未定ですので、希望者は辻村までお申し出下さい。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年8月13日 (水)

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien, SWV279 22~27番

シュツツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

今日は神楽坂の聖バルナバ教会集会室での練習でした。

発声個人レッスンはお休み。全体発声は35分。

★SWV279

22番・・・unserの語尾は曖昧に。koemmtのO-ウムラウトの発音に注意。口を丸く突き出して前の方で発音しましょう。決して「ケ」にならないように。koestlichも同じ。MuehのU-ウムラウトは「ミュー」よりももう少しイの要素を多くしましょう。Leben、gewesenのweは長母音です。少しだけイの要素を入れて発音して下さい。

23番・・・unser、dieser、muessen、diesem等の語尾が強くなるように。これらの言葉は全て頭にアクセントがあります。そのアクセントをしっかり発音すれば、語尾は自然に納まるはずです。525小節から各パートに出て来るauchは、アウフではなく、アオホに近い発音をお願いします。

24番・・・最初の方で、フレーズの終わりに何度か出て来るlebtの語尾の子音btをしっかり発音してからプレスしましょう。559小節2拍目からのmit dieser meiner Hautはワンフレーズで歌いましょう。566小節から繰り返し出て来るwerde、meinemは、語尾が強くなるように。アクセントは単語の頭です。

25番・・・基本的に4小節単位のフレーズで歌いましょう。591小節のhoechsterは、語尾を短くして次のTrostの頭をしっかり発音しましょう。595小節のfurchtの発音に注意。uが浅くなったり、ウムラウトが付いたような発音が聞こえていました。603小節1拍目のdassの前にnが入らないように！603小節のstetsをはっきり。ichのchを早く処理して、次のstetsの最初のsをしっかり発音しましょう。stetsのeが短すぎるように思います。605小節のlebの長母音を上手に。決して「リープ」ではありません。607小節からのdrumのuはもう少し長目に。

26番・・・lasse dich nichtの部分、dichのchをちゃんと発音しましょう。lasse dinichtに聞こえます。chをちゃんと発音しましょう！626小節のバスは、全音符を伸ばし過ぎると、ブレスが間に合わず次の小節の入りが遅れます。早目に切り、627小節はソプラノ2声と同じタイミングで出られるようにしましょう！segnestの付点四分音符のリズムも正確をお願いします。segnestのgは濁ります。

27番・・・duの発音に気を付けましょう！667小節のSuende。アクセントは頭です。語尾が、「デー」と長くなり、アクセントが付いているのが気になりました。

SWV388

117ページの?の部分から練習。

8分音符が連続するところは8分音符を一つずつ歌わずに、nehmlich、Jesus、glauben等の単語の抑揚を考えて歌いましょう。Geduldのuの発音は平べったくならないように。zumは母音を長目に。denenの頭のeは長母音です。die an ihn glauben sollenのanのn、ihnのnをしっかり発音しましょう。die an ihnが「ディ アイ」に聞こえないように。sollenのoは明るいoです。暗くならないように。?の部分のunterは語尾にアクセントが付かないように。次のwelchenのwをしっかり発音しましょう。?の部分。Suenderの語尾にアクセントが付いてしまっているのが目立ちます。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
今日は全員出席でした。7月9日以来5週間振りでした！

備考

発声個人レッスンの予定
8月20日・・・平石
8月27日・・・柿沼

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年8月6日（水）

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 2～21番まで

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391
Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は25分。

★SWV279

2番・・・3小節目に向かって少し膨らませます。5小節4拍目と8小節2拍目のderは短めにして、次のHerrをしっかりと歌います。9小節のgenommenは、noに重さが来るようにして語尾のmenは収めます。つまりgenommenという言葉の抑揚通りに歌えば自然にそうなるはずですよ！

3番・・・19小節の第1ソプラノと第2テノールは、延ばしている間に収めます。次から各パートに次々に出て来る erbarmは、baに重さが来るように歌います。前綴りのer-は長母音にならないようにお願いします！ 曲の最後も収めます。

5番・・・JesuとChristeは、延ばしている音で膨らませて語尾で収めます。erbarmの歌い方は3番と同じです。55小節のSohnは、全音符を持っている第2ソプラノと第2テノールは延ばしながら収めます。

6番・・・72小節のアルトのHerrenの発音が長母音のように聞こえて、今までにも何度か指摘されていましたが、今日の練習でだいぶ良くなったと思います。Heは日本語の「へ」と同じと思って下さい。80小節も同じです。81小節アルトの最後の音は、楽譜ではCですが#を付けてCisにする事になりました！

7番・・・erbarmは3番・5番と同じく、各パートに互い違いに出て来るのを意識して歌いましょう。

9番・・・alleは二つのlをしっかりと歌いましょう。次のdie とanはつながらないように、dieを短めに歌いましょう。

112～115小節の第1ソプラノは力強く歌いましょう。

10番・・・フォルテで歌い出します。133小節のerwuergeの発音に注意。エアと言ったあと、いつまでもアーと延ばしていないように。そして前綴りのerを長母音にしないように！ 11ページ最後のbitternのbiはたくさん破裂させて下さい。12ページのlass sieは、lassの付点を延ばし過ぎず短めにして、次のsieをしっかりと発音しましょう。

11番・・・第2テノールは、154・155小節のH→Cis→Dis→Eの音階を正確にお願いします。特に155小節のDis(D#)を高めに歌いましょう。161小節の第2ソプラノは、すぐに次の小節を歌わなければならないので、早目に終わりづ

レスします。182小節の第2テノールは、最初の-tesを早目に終わりブレスして、3拍目からのmachtetをしっかりと歌います。

13番・・・233・234小節は、1拍目と3拍目にアクセントを付けます。

14番・・・最初のEs ist allhierは、Es istとallhierに分けて歌います。次のAngst, Not und Truebsal ueberallは一息で歌いますが、Angstのあとのコンマも意識して歌いましょう。

16～21番は通しました。

★SWV391

?と?の部分のdieのあと、inに入る前に隙間をあけます。(以前にも指摘がありました!) 「ディー」よりも「ディ」の感じです。

★SWV388

?と?のdie Suenderは、dieのあとに隙間を入れます。「ディー」よりも「ディ」というような感じで、イをあまり長く延ばさないように。Suenderをはじめ、ウムラウトは、舌を前の方に出すとうまく発音出来ると思います!

Suenderのアクセントは最初にあります、今は語尾にアクセントがあるかのように「ダー」ばかり目立っています。?の部分に出て来るunterも同じで、ターばかり目立っています。「ダー」よりも「ダ」、「ター」よりも「タ」くらいで丁度よいでしょう。117ページの?の部分の男声の言葉がもたついています。そろそろしっかり歌えるようにしましょう! Geduldのuは浅くならないように。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：中西 山村
欠席：4人(ソプラノ1名、アルト2名、バス1名)

備考

来週は同仁教会がお盆休みで使用できないので、神楽坂のバルナバ教会での練習になります。発声個人レッスンはありません。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年7月30日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279
Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280
Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュッツ： Die mit Traenen saeen, SWV378
So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387
Das ist je gewisslich wahr, SWV388
Selig sind die Toten, SWV391

記事

内容・・・全曲通しました。

♪ 今日先生は体調が完全ではないのと、メンバーも風邪をひいていたり、そして欠席も多かったので、早目に8時40分頃練習を終わりにしました。来週は皆元気で練習が出来ますように！
来週はもう8月で、演奏会まであと3ヶ月足らずです！ 間違えやすい箇所は各自チェックして、次の練習では間違えないようにしましょう！

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：翁長 柿沼
バス：大庭 山村
欠席：5人(ソプラノ1名、アルト1名、テノール2名、バス1名)

備考

◎ 練習前に、1月に亡くなられたアルトの宮崎さんの息子さんご夫妻が来られ、お菓子の差し入れをいただきました。そして、引き出しを整理していたらハンカチがたくさん出て来たので、女性の方で分けて下さいとの事でした。もう半年も経ってしまったのですね…！

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年7月23日 (水)

練習箇所

水野先生は体調が悪くお休みのため、自主練習になりました。
堀江さんにキーボードを弾いていただき、このところ暫く歌っていなかったMusikalische ExequienのNacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279を一通り練習してから、Die mit Traenen saeen, SWV378も2度通して歌いました。

記事

細かくは書きませんが、今までに指摘された音やリズムの間違いが相変わらずなおっていないのが残念でした。音の違いは目をつぶるとしても、リズムが違ってしまうと他のパートとずれてしまい、收拾がつかなくなってしまう。特に男声の皆さんは譜読みを正確にお願いします！ 演奏会まで残り3ヶ月余です…。これからの練習は音取りに時間をかける事無く、先生に音楽的な面での練習に専念していただけるようにしましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 柿沼
バス：大庭 山村
欠席：4人(ソプラノ1名、テノール2名、バス1名)

備考

発声個人レッスンの予定

7月30日・・・大久保

8月6日・・・柿沼

♪ 演奏会のお知らせ

ランチタイム・パイプオルガンコンサート

7月29日(火) 午後12時15分～12時50分(12時開場) 茗荷谷キリスト教会

演奏： 堀江和子

プログラム

J.S.Bach: 前奏曲とフーガ ニ短調 BWV539

D. Buxtehude: 来たれ聖霊、主なる神 BuxWV199

J. Brahms: おお神よ、慈悲深い神よ、op.122-7

F. Mendelssohn: ソナタ第2番ハ短調 op.65-2

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年7月16日 (水)

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュツツ： Die mit Traenen saeen, SWV378

シュツツ： So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は30分。

★SWV281

Chor 1の8小節目-renはフレーズの終わりなので、二分音符を歌い過ぎないように。3小節目の-denは、次が休符なので長目に。但しどちらも語尾なので、押さないように。

Chor 2は曲を通してpで歌いますが、もう少し抑揚を付けて歌いましょう。Chor 1は強弱記号をちゃんと歌いわけましょう。fortiterは強く、submisseeは弱く歌います。

★SWV378 最初のDie mit Traenenは、mitのtもTraenenのTもどちらも省略せずに発音します。

?と?の3拍子のところは明るく歌いましょう。

48ページから何度も出て来るkommenのoは明るいoです。

曲の最後のフレーズund bringen ihre Garbenは、und bringenとihre Garbenに分けます。

★SWV379

?のところで段落を付けます。?はあまり待たずに先に行きます。

?のsoは、軽く短めにして、次のschlafの子音を早目に発音します。

★SWV391

142ページ2段目2小節目のバスは、その2小節前の第1テノールの影響からか、Cの音が#になりがちです。次の小節のCも気を付けましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

無し。

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年7月9日 (水)

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen SWV279 23-27番
Herr, wenn ich nur dich habe SWV280
Herr, nun laesest du deinen Diener in Frieden fahren SWV281

シュッツ：Die mit Traenen saeen SWV378

シュッツ：So fahr ich hin zu Jesu Christ SWV379

シュッツ：Das ist je gewisslich wahr SWV388

記事

発声個人レッスンは名阪さんでした。全体発声は40分。

★SWV279 23-27番を通しました。

25番・・・585小節のerstandenの前綴りのerは、長母音にしないで下さい。

26番・・・629小節からのich lasse dich nichtのdichはchが聞こえず、lasse dinichtになっているので発音を工夫して修正して下さい(下4声)。

★SWV280 通しました。

★SWV281

fortiterはf、submisseeはpで歌います。Chor2は全体を通して弱く。

★SWV378

48ページから最後まで各パートに次々に出て来るund kommenはundとkommenの間に隙間を入れます。undの四分音符を伸ばし過ぎないように。kommenは語頭のko-をはっきり発音しましょう。このoは短母音です。

★SWV379

53ページ上段から各パートに出て来るmich fuehren zum ewigen Lebenは、fuehrenとzumはつなげず、mich fuehrenとzum ewigen Lebenに分けます。

53・54ページの3声部分は、緻密で柔らかい響きで歌い、5声部分と変化を付けて歌いましょう。

★SWV388

?と?のSuenderの発音は毎回のように注意されてもなかなか治りませんね！ まるで語尾の-derにアクセントがあるように聞こえます。アクセントは語頭です。母音(U-ウムラウト)にアクセントを付けて長目に歌い、あとは軽く歌う

とうまく行くと思います。今はnに行くのが早過ぎるので、次のderにアクセントが付いてしまっているように思います。unterやwider等、他の言葉にも当てはまります。他の曲にも色々出て来ますので、各自研究して下さい。語尾の発音に関してはこれ以上注意を受ける事のないようにしましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
欠席：無し。久し振りに(5月7日以来)全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

7月16日・・・辻村

7月23日・・・大久保

7月30日・・・柿沼

♪ 演奏会のお知らせ

7月13日(日)

三菱東京UFJ銀行合唱団公開練習

午後3時・池上会館2階集会室

指揮：水野克彦

ピアノ：船澤めぐみ

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年7月2日 (水)

練習箇所

シュツツ： Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 22～27番

シュツツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

シュツツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは大友さんでした。全体発声は37分。

★SWV279

22番・・・第2バスが居なかったので、第1バスのみでの練習。460小節の入りの音がなぜか取りにくいようですが、移動ドの階名読みで第2バスをラソファミレドミミミラと読んでいくと、次の第1バスの入りの音はドになります。第2バスが最初のフレーズをラソファミと歌うので、第1バスは2小節遅れて3度上でドシラソと歌い出せばよいわけですが…。466小節の入りを一拍早く出してしまうないように、良く数えて下さい。Mueh'の発音は水野先生の発音を参考にして真似して下さい！

23番・・・unser、dieser等の語尾をおさめて下さい。アクセントは頭にあります。

26番・・・男声が、lasse dich nichtのdichのchが言えていないのが目立ちました。639小節から最後までdu

segnestは、duの後に少し隙間を入れて下さい。

27番・・・667小節2拍目の第2テノールの音が下がり切らずに不安定になりがちです。

★SWV387

第1節の3小節目からのそれぞれのパートのherzlichは、付点で子音を言うように意識して歌いましょう。付点は延ばし過ぎないように。102ページ4小節目の第2ソプラノと、103ページ下段2小節目の第1ソプラノは、Hueftとundの間に隙間をあけます。103ページ最後の小節の第2テノールの最後のH音が不安定です。下がり過ぎる事が多いので注意しましょう。104ページ下段のZuversichtのZuが日本語のツーになっています。もっと深い発音をお願いします。上の段のnurも同じです。この曲は3節まであり、音はそれぞれ同じですが、例えば第1節ではherzlich liebと二つの単語で歌うところを、第2節ではes ist jaと三つの単語になっているので、歌い方もかえなければなりません。3節とも同じ歌い方をしないように、考えながら歌いましょう。

★SWV388

?のSuenderのウムラウトの発音に注意。語尾にアクセントが付かないようにおさめて下さい。アクセントは単語の頭です。母音(U-ウムラウト)を長目に発音しましょう。zuが浅くならないように。115ページ?からのunterも同じです。日本語のターになり、その上アクセントが付いてしまっています(特に男声)! アクセントは単語の頭です! ?の前の小節の第2テノールは高めをお願いします。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西
欠席：1人(バス)

備考

来週の発声個人レッスンは名阪さんです。

♪ 演奏会のお知らせ

渋谷混声合唱団第20回定期演奏会(創立30周年記念)が、今週土曜日、5日の午後2時から東京オペラシティコンサートホールで行われます。曲はベートーヴェンのミサ・ソレムニスで、指揮は水野先生です。柿沼さんと山村さんが出演します。お時間のある方は聴きに行きましょう!

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年6月25日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 20・21番

シュッツ： Selig sind die Toten, SWV391
Die mit Traenen saeen, SWV378
So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379
Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387
Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは中西さん(バス)でした。全体発声は27分。

★SWV279

20番・・・最初のWenn mir gleich の3つの4四分音符は抑揚を付けて歌いましょう。mirを長目に、gleichは短めに。Seeleの最初のeは長音ですが、イになり過ぎないように。

第2テノールの410小節Fis→G、415小節のGis→Aが上がり切らない事が多いので注意。

先生からの指摘はありませんでしたが、414小節のバスG→Fは下がり切っていないので注意。

417小節からのところは全体にduの発音に注意。色々な発音が聞こえます。ドーになったりデューになったりしないように。ちなみにundのuとは同じ発音ではありません！

bist duはリエゾンしないように。

Herzenは全パート最後にsを付けてHerzensにするのを忘れないように。

Herzensの発音ですが、最初のeは長音ではありません！ 口を開いて明るくはっきり「へ」と言って下さい(特にアルト)。

423小節のバスの3拍目のC、4拍目表のAの音が不正確です。424小節3拍目のAの音も。

★SWV279

21番・・・最初のEr ist das Heilは、istは表拍なので少し長目にしてdasは短めに。四分音符が3つ同じにならないように。喋る抑揚で。

437小節頭の～denは前から続いている言葉の語尾なので、アクセントが付かないように収めましょう！ 次のzu erleuchtenは、zuとer～がつながらないようにはっきり分けて歌いましょう。アルトはこのzuと441小節のzuの発音に注意。日本語のツーに聞こえます！

443・444小節と450・451小節のerは長音ではっきりと歌いましょう。

★SWV391

?の部分の第2テノールの入りがいつも遅く、リズムが崩れるので気を付けましょう！

?からのseligはligの4分音符(i)を長目に歌いましょう。

?と?の最初のdieのあとは隙間を開け、次のinにつながらないようにします。

dieは短めに、inは長目に、demは短めに。

?のSieからは柔らかい音色にしたいので、その前のSprichtは音をのぼしながら収めます。

Werkeは二つの4分音符に分かれています。ちゃんと一つの言葉に聞こえるように。

keにアクセントが付かないように。folgen、ihnenも同じです。

?からは静かにゆったりと意味をかみしめながら歌いましょう。幸せな気持ちで。今は少しうるさい感じで、聴く人は幸せな気持ちにはなれないと思います…！

ruhenのuの発音が浅くならないようにお願いします！ sieのあとは少し隙間を入れて下さい。くれぐれもロマン派の音楽にしないで下さい。

★SWV378

6週間振りでした！

バスは48ページの2段目の最初と3段目の最初は同じではないので要注意。バスの?の最初のところ、tragenのgenの音はGisです。#が取れてGにならないように。2段目の最初の小節の最後はDです。#を付けないように。

edlenのdもちゃんと発音して下さい。edlenの最初のeは長音ですが、イになり過ぎないように(全パート)。

★SWV379

一度通しました。

★SWV387と388も通して歌いました。

SWV387は4週間振りでした。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 名阪 中西

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西 山村

欠席：2人(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

7月2日・・・大友さん

7月9日・・・名阪さん

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年6月18日（水）

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 8-18番

シュツツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391

シュツツ： So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

記事

発声個人レッスンは大庭さん(バス)でした。

★SWV279

9番・・・111小節男声のsondernの語尾は、曖昧に短く発音しましょう。日本語の「～デルン」にならないように。そして次のdasに慌てて突っ込まないように、～dernとdasの言葉を分けて発音して下さい。八分音符二つのリズム ♪♪を正確に。

18番・・・377～380小節のバス。GisとAの音が上がり切っていません。もっと上から取って下さい。

★SWV388

全体への注意として、語尾を後押しする癖が出る時があるとの指摘を受けました。語尾は必ず収めましょう。

111ページ最後の第2テノール。undの入りは他のパートと異なるので、リズムに注意。前のwahrを早目に切り、裏拍ではっきりundと入ります。ただし突っ込まない事。

113ページ2小節目のWeltは、第2テノールは2分音符、バスは全音符で長さが異なるので要注意。

115ページ3小節のバスの音はCです。第2ソプラノと3度でハモっている感覚を意識しましょう。

115ページ?の部分。welchenのwel-は四分音符なので、weを長目に発音します。

116ページ2小節目の第2テノール。Herzigkeitの発音がこもっていてピッチが下がるとの注意を受けました。舌を前に出す事で発音もはっきりしてピッチも安定します。また、第1・第2ソプラノとの三部合唱のハモリを意識しましょう。

117ページ2段目最後の男声。zum Exsempelや、次のdie an ihn glauben等の8分音符を慌てて突っ込まないように。表拍を長目に歌いましょう。

118ページ最後のアルト。erzeigeteの入りのDの音は、第2ソプラノとぶつかる事を意識して入りましょう。意識しないと低めになるので要注意。

121ページ1小節目のバス。2拍目裏のCisはきちんと下がります。ハーモニーを意識。

★SWV391とSWV379は、最後に1度ずつ通しました。SWV379は5週間振りに歌いました。

来週はSWV378とSWV379を練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 名阪 中西 平石
アルト：大友 大庭 堀江
テノール：翁長 柿沼
バス：大庭 中西 山村
欠席：4人(ソプラノ1名、アルト1名、テノール2名)

備考

来週の発声個人レッスンは中西さん(バス)です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年6月11日 (水)

練習箇所

シュッツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 8～10番
シュッツ： Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は 分。

★SWV388

111ページ最後の第2テノール、付点二分音符は長過ぎないように。
115ページ、バスの出の音が不安定です。アルトと第2テノールと同じDの音です。次のCは、前のテノールに引っ張られて#が付いてしまわないように！
Suenderのウムラウトの発音は、各自研究して上手に発音出来るようにしましょう！
特に男声はジュとかズに聞こえます…！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
欠席：1人(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
6月18日・・・大庭さん(バス)
6月25日・・・中西さん(バス)

2014年6月4日（水）

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 1～7番

シュッツ：Das ist je gewisslich wahr, SWV388

シュッツ：Selig sind die Toten, SWV391

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。全体発声は36分。

★SWV279

最初から7番までを練習。4週間振りでした。

1番のIntonatioはテノール全員で歌いました。

6番・・・80小節のバスの最後の音はFisです！ Fになってしまう事が多いので、#を書き足しておくの良いのでは？ 72小節と80～82小節のアルトのHerrenのHeの発音が、延ばしている間に長母音のようにイの要素が入ってしまう事があるので気を付けましょう。

★SWV388

?から最後までを練習。

SuenderのU-ウムラウトの発音がバラバラです。くれぐれもジュとかズにならないようにお願いします。

unterの語尾にアクセントが付いて、ターばかり目立って聞こえます。アクセントは最初のuです。最初のunを言った口のまま、それ以上に口を開けずに次のterを発音すれば、自然に曖昧になります。aberやwiderも同じです。語尾を発音する時には口を開け過ぎないように！

Geduldのuが狭くならないように。

sollenのoは明るいoです。長母音にしている人は居ませんか！？

116ページ終わりから119ページ上段までに何度か出て来るzum Exempelは、母音を長目に歌いましょう。uやeのあとすぐに次の子音(この場合はm)に行かず、ツーム エクセーペルのように歌いましょう。

Lebenも語尾はもちろん曖昧に発音しますが、曖昧にし過ぎて？バンになってしまうと、他の言葉のように聞こえて違和感があります…。特に120ページのフェルマータの部分が一番目立ちます。日本語のベンにならない程度に、曖昧にベンと発音しましょう。

★SWV391

3週間振り。2度通しました。

nun、ruhen、のuが浅くならないように注意しましょう。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭
欠席：5人(ソプラノ1名、アルト2名、バス2名)

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さんです。

2014年5月28日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien
 Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280
 Herr, nun laesest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281
 Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 — 22番

シュッツ : Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

シュッツ : Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。全体発声は35分。

★SWV280、SWV281は一度通しました。

★SWV279は22番のバスのデュエットのみ練習しました。

★SWV387

?と?の部分の付点四分音符の付点は延ばし過ぎないように。1番はherzlich のherzとlichの間、2番はesとistの間、3番はachとHerrの間は、隙間を開けましょう。

??の部分は、抑揚を付けて歌いましょう。強拍の部分を強めに。

★SWV388

最初に言葉を読み直してから通して歌いました。そのあと?から?までをリズム読みしてからその部分を中心に超スローテンポで練習しましたが、まだ言葉もリズムもだいぶ危なっかしかったです(特に男声)。自習をお願いします。

出席者

ソプラノ : 黒田 辻村 名阪 中西 平石
 アルト : 大久保 大友 大庭
 テノール : 小沢 翁長 柿沼 片岡
 バス : 大庭 山村
 欠席 : 3人(ソプラノ・アルト・バス各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは小沢さんです。

2014年5月21日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien
 Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 22-27番

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュッツ : Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は23分。

★SWV279

22番・・・通しました。第1バスの出だしの音が取れていませんでした！直前の第2バスの終わりの音をオクターブ上で感じ、そこから3度上の音が出すべき音です。つまり移動ドで読むとラの音から3度上のドの音をイメージすれば取りやすいと思います。第1バスの480～482小節、491～497小節の4分休符を正確に。500小節の第2バスの最初の音が不安そうです。はっきり出しましょう。

24番・・・第1テノールが居なかったので省略。

27番・・・第2テノールの653小節2拍目のGの音が、二人でハモってしまうことがあります。Hの音を歌わないように。

★SWV280・・・第1コーラスも第2コーラスも、最初のHerrをしっかり歌いましょう。30小節の第2コーラスのテノールは、2拍目のAと3拍目のDの音を正確に。

★SWV281・・・welchenの発音をしっかり。次のduは浅くならないように。Voelkernの語尾のeは曖昧に。日本語のエにならないように。最後のページのund zumの母音は長目に。

★SWV387・・・先週久し振りに歌った時に言葉をだいぶ忘れていたので、今日はゆっくりリズム読みをしてから、遅いテンポで歌いました。103ページの第2テノール最後の音を正確に。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西 山村

欠席：4人(ソプラノ3名・アルト1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大庭さん(アルト)です。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年5月14日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 15～23番

シュッツ : Die mit Traenen saeen, SWV378

シュッツ : So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

シュッツ : Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

シュツツ : Das ist je gewisslich wahr, SWV388

シュツツ : Selig sind die Toten, SWV391

記事

発声個人レッスンは辻村でした。全体発声は36分。

SWV279

★15番・・・テノール1が居なかったので、テノール2のみでの練習でした。werdenの最初のeは長母音です。少しだけイに近付けて下さい。語尾のdenにアクセントが付かないように曖昧に発音します。

★16番・・・15番のwerdenと同じく、Glauben、trauen等の語尾の母音の色に注意。日本語のエにならないように曖昧に、アクセントが付かないように。

★17番・・・1小節と3小節のgeheで長く伸ばしている音は、ただ伸ばしっぱなしにせずに、次に動く前にくびれを作りましょう。342小節のVolkの語尾のkは、次の8分休符を活かすために、はっきりと短めに。349小節のkleinenの最初の子音のklをはっきり。340小節のAugenblickのbli-は伸ばし過ぎないように。(以前は長目にという事でしたが…。)

★18番・・・362小節のundは短めにして、次のkeineのkをはっきり発音しましょう。次のQualとruehretの最初の子音もはっきり。369小節のstuerbenのウムラウトに注意。ウにならないように、もう少しイの要素を多くしましょう。

★19番・・・テノール1が居ないので省略しました。

★20番・・・417・423小節のアルトのduが平べったくなっているので注意しましょう。アルトの418・424小節のHerzenの最初のeが長母音のようになりかけています。もっとあいたエにして下さい。

★21番・・・438小節のzuerleuchtenのleuは日本語で書くとオイですが、オは明るいオです。暗くならないように。イはウムラウトです。最後のWonneのoは明るいオです。語尾のneはアクセントが付かないように、曖昧に。

★22番・・・バス2が居なかったので、バス1のみでの練習。Mueh'のウムラウトはもう少しイの要素を多くしましょう。最後のGewesenのweのeは長母音です。もう少しイの要素を多くしましょう。

★23番・・・elendの最初のeは長母音です。少しだけイに近付けましょう。515小節からのところは四分音符を一つ一つ歌わないように。言葉の抑揚を考えて歌いましょう。JammertalのJとtをはっきり発音しましょう。最後のwohlgelinetの発音に注意。Wohlのoは暗めに。gelingetはliにアクセント。ngを正確に発音しましょう。

小曲5曲は番号順に通しました。最後のSWV391は2回通しました。

SWV387の4小節目のテノール2の8分音符はFisです。107ページの第3節も同じです。シャープが取れてしまい、Fになっていたので気を付けましょう！

SWV387は5週間振り、SWV388は6週間振りのため、音も言葉もだいぶ忘れていた人がいたので思い出しておいて下さい(特に男声パート)。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 中西

欠席：3人(アルト・テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

5月21日・・・大久保

5月28日・・・大庭(アルト)

2014年5月7日（水）

練習箇所

シュツツ： Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 1~14番

シュツツ： Selig sind die Toten, SWV391

シュツツ： Die mit Traenen saeen, SWV378

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は36分。

★SWV279

2番・・・9小節のgenommenの二つのmは強調しないように。ゲノンメンにならないように。

6番・・・74小節のバスの最後の音はFです。シャープが付かないように！ 80小節のバスの最後の音はFisです。シャープが取れてしまわないように！ 75小節のアルトのFisは時々シャープが取れそうになる事があるので気を付けましょう。79小節のバスのGisは高めに入りましょう。

9番・・・ソプラノ2の111小節4拍目のson-、114小節2拍目のe-、4拍目のLe-等は弱拍に来てはいますが、言葉のアクセント通りに強調して下さい。116小節は段落の変わり目という事を意識しましょう。特に第2テノールは、-benを延ばし過ぎずに早目に切り、次のerをはっきり歌いましょう。

11番・・・162小節からのallenの二つのl(エル)は強調して下さい。182小節のテノールは、machtetに入るのが遅れないように-tesの音を早目に終えてブレスします。

12番・・・vergeben、Leben、haben、Gaben等、語尾のbenを歌い直さないように。

★SWV391

139・140ページに何度も出て来るdie in dem Herren sterbenのdie(関係代名詞)とinの間はつなげずに隙間を作り、inをはっきりと言い直します。demのeは長母音です。少しだけイに近付けて下さい。????の部分のSie ruhenは、Sieとruhenがつながらないように。?と?の部分のihreは、8分音符二つなのでihが短くなりがちですが、イを長くうたいましょう。folgen、ihnen等の語尾を歌い直してアクセントが付かないように。

★SWV378・・・練習の最後に一度通しました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
全員出席。2月5日以来、13週間振りでした！

備考

♪発声個人レッスンの予定。
来週5月14日は辻村。それ以降は未定です。希望者は辻村までお申し出下さい。

2014年4月30日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien
Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュッツ : Selig sind die Toten, SWV391
Die mit Traenen saeen, SWV378
So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

記事

発声個人レッスンは名阪さんでした。全体発声は40分。

★SWV281

一度通しました。最後のIsraelのeは、日本語の「エ」よりも少し狭く発音しましょう。

★SWV391

2月19日に一度ヴォカリーゼで歌って以来全く練習していなかったので、ヴォカリーゼでしっかり音取りをしてから言葉を付けて歌いました。

最後のページの2段目最後の小節のバスの入りが不安定です。直前のソプラノ2やアルトの音を聴いていると入りやすいです。

★SWV378・SWV379

この2曲も2月19日に一度歌っただけでしたが、前々回の定演で歌った曲なので音取りの必要はありませんでした。SWV378の?と?のund tragenの部分のアルトの音は同じではないので注意。最後の音が、?の方はD、?はDisです。?の方のDの音が時々上ずってDisに近付いている事があります。

SWV379の?の部分のバスが入りにくそうですが、直前にソプラノ1と2、テノールが同じHの音を出しているのので、よく聴いて入りましょう。

出席者

ソプラノ : 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト : 大久保 大友 大庭 堀江
テノール : 小沢 柿沼
バス : 大庭 中西 山村
欠席 : 3人(ソプラノ1名、テノール2名)

備考

発声個人レッスンの予定
5月7日・・・柿沼

 [冒頭へ](#)

| 月初の練習日に移動 |

2014年4月23日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 : 25-27番、1~10番

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

記事

発声個人レッスンは大庭さん(バス)でした。全体発声は34分。

★SWV280

最初のHerrの言葉の最後のrのあとに母音が入らないように。

nurのuは浅くならないように。49ページ上段のHimmelとErdenは、どちらも小節にまたがっているために語尾にアクセントが付きやすいので気を付けましょう。

最後のページのTrostのoは長母音です。口をすばめて暗めの音で長目に発音します。

★SWV281

22・25小節のhastはダメ押しをしないように、おとなしく入って下さい。

33小節からのdenn deine Augen haben deinen Heilandの部分は音符一つ一つにアクセントが付かないように、言葉の抑揚を考えて歌いましょう。

45小節からのwelchen du bereitet hast vor allen Voelkernの部分は、特に最初の連続する4つの四分音符を同じに歌わず、言葉の抑揚を考えて歌いましょう。allenとVoelkernの語尾はアクセントが付かないように。Voelkernのkernのeは、VoelのO-ウムラウトより明るくならないように。次のihre Werke folgen ihnen等も同じように、語尾を上手に処理しましょう。最後のページのdeinesの二重母音のeiは、はっきり「イ」と言わず、曖昧に発音します。

※ 112小節から最後までは、全パートで歌います！

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 片岡 柿沼

バス：大庭 中西 山村

欠席：1人(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

4月30日・・・名阪

 [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年4月16日 (水)

練習箇所

シュッツ : Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 25~27番

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

記事

発声個人レッスンは大友さんでした。全体発声は40分。

★SWV279

25番・・・603小節のstets、605小節のlebのeは長音です。少しだけイに近付けて下さい。610・616・620小節のFreudenのdenは語尾なので、eは曖昧に発音します。アクセントが付かないように取めて下さい。

26番・・・最初の小節は内切りにします。次の小節にかからないように。segnestの最初のeは長音です。少しだけイに近付けて下さい。次のgは濁ります。

27番・・・gebのeは長音です。TodのTをはっきり。

671小節から最後までまでの間のアルトのduの発音が浅いのが目立つので、直して下さい！

★SWV280

一度通しました。

★SWV281

9週間振りのため(SWV280も)、忘れていたパートもあり(特に男声)、部分練習をしたりしているうちに時間がなくなりましたが、取りあえず最後まで歌いました。

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 名阪 中西
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 中西 山村
欠席：3人(ソプラノ2・テノール1名)

備考

♪ 発声個人レッスンの予定
4月23日・・・大庭(バス)
4月30日・・・名阪

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年4月9日 (水)

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279 20～23番

シュッツ：Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは黒田さんでした。全体発声は40分。

★SWV279

21番・・・448小節最後のundは四分音符いっぱい延ばさず、短めにします。

23番・・・510～514小節に出て来るdarniederleitの発音ですが、darのrは巻き、niederのderは曖昧に。

★SWV387

3週間振りでした。

第1節の?と?の部分のherzlichの付点四分音符を正確に(特に男声)。語尾のlichは短くなり過ぎないように。

今日は第1節しか練習出来ませんでした。譜読みが遅れている人は自習をお願いします！

まだ殆ど練習していない曲が、あと3曲あります！

出席者

ソプラノ：黒田 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 堀江

テノール：翁長 柿沼

バス：大庭 中西

欠席：5人(ソプラノ1名、アルト1名、テノール2名、バス1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大友さんです。そのあとは未定です。

希望者は辻村までお申し出下さい。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年4月2日 (水)

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien,

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279：14番～27番

シュッツ：Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。全体発声は36分。

★SWV279

21番・・・441小節のアルトの音はGですが、時々Hを歌ってしまう人がいます。前にも先生から指摘された事がありましたね！ 気を付けましょう！

22番・・・460小節の第1バスの入りの音は、第2バスの最後のEの音をオクターブ上で感じていると取りやすいですよ！ 482・493・497小節のMuehのU-ウムラウトは、もう少しイに近付けて下さい。

26番・・・668小節から何度も出て来るduの発音に気を付けましょう！ くれぐれもuが浅くならないように。今日はここしか指摘されませんでした。実は25番の前半にもduが出て来て、やはり浅くなっている人がいたので注意して下さい。

★SWV388

?から?の部分を何度も練習しました。連続する8分音符は走らないように！ そのためには拍の頭をオーバーなくらいに長めに歌うと良いでしょう。4分音符が連続して出て来るところも同じ。

?から?の部分はどのパートもフレーズの最初に同じ音が続きますが、一つ一つの音にアクセントがつかないように。aberのあとは少し隙間を入れてdarumに入りましょう。

Sunderの語尾は曖昧に。日本語の「ダー」にならないように。unterも同じ。この曲ではzum、Geduldのuが浅くなっているのが気になりました。

最後に、前の曲から続けて歌う練習のため、SWV387の?から続けて最後まで歌いました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス大庭
欠席：3人(ソプラノ1名、バス2名)

備考

♪ 発声個人レッスンの予定

4月9日・・・黒田

4月16日・・・大友

今日からいつもの2階の部屋に戻りました。

今日は水野先生のお誕生日でした！ おめでとうございます！

Herzlichen Glückwunsch zum Geburtstag!

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年3月26日（水）

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279
14～16番まで。

シュッツ：Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは黒田さんでした。全体発声は40分。

★SWV279

14番

254小節3拍目のバスのAの音が決まっていません。時々Aまで届かずに、Hに近い音が聞こえます！

Jammer~, voller, immer等の言葉の語尾にアクセントを付けないように。～erは曖昧母音です。日本語のマーとかラーにならないようにお願いします。

15番

SuendeのU-ウムラウトに注意。特に第2テノールはウムラウトがなくなってしまう、ズンデになってしまう事が多いです！

Schnee~の発音に注意！ eがイに近付き過ぎて、シュニーになってしまっています。werdenの最初のeもイになり過ぎないように！

16番

324～325小節のwider、327～328小節のHeilgeの語尾にアクセントが付かないように。

★SWV388

?の部分のwelchenのchの発音に注意。 unterの語尾は曖昧に。～terにアクセントが付かないように。
SuenderのU-ウムラウトの発音に注意！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西
アルト：大久保 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭 山村
欠席：4人(ソプラノ2名・アルト1名・バス1名)

備考

♪ 発声個人レッスンの予定
4月2日・・・平石
4月9日・・・黒田

来週から、練習場所は3階から2階に戻ります。

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年3月19日 (水)

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien
Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279
14番～21番
シュッツ：Das ist je gewisslich wahr, SWV388
シュッツ：Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は36分。

★SWV279の15番 SuendeのU-ウムラウトの発音に気を付けましょう。特に第2テノールは母音を延ばしている間にウムラウトがなくなり、uになってしまっています！

★SWV388 ひたすら何度も通しました。だいぶ言葉にも慣れたのではないのでしょうか…！？

★どの曲も、今までは曲に慣れる事で精一杯でしたが、そろそろ発音に磨きをかけたいところです。U-ウムラウトやu等、人によってそれぞれ色々な癖があるので、正確な発音で歌えるように気を付けましょう！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：

欠席：7人(ソプラノ1名・アルト2名・テノール1名・バス3名)

備考

♪ 発声個人レッスンの予定

3月26日・・・黒田

4月2日・・・平石

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年3月12日（水）

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279

シュッツ：Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

Das ist je gewisslich wahr, SWV388

記事

発声個人レッスンは小沢さんでした。全体発声は46分。

★Nacket bin ich von Mutterleibe kommen

8～20ページまでを復習。

★Herzlich lieb hab ich dich, o Herr

?の部分の第1ソプラノの入りのAの音が取れていない人がいます。(1節・2節・3節すべて) 直前の第1テノールのHの音から取れば簡単かもしれません。(私は他3パートが出しているEの音から取っていますが…!) くれぐれも下からずり上げず、しっかりその音から入って下さい!

第1節104ページ3小節目のnur、第2節104ページ下段のZuversicht、第3節109ページ上段のund、ruhn等のuの発音に気を付けましょう!

★Das ist je gewisslich wahr

?の部分に何度も出て来るSuenderのu-ウムラウトの発音に注意! ズインデンでもズンデンでもジュンデンでもありません!

★SWV387

それぞれの節に入る前に言葉を読んでから、第3節まで全部練習しました。

第1節・・・?と?の部分の最初のHerzlich liebのbをはっきり。

??の箇所は四分音符が続くので、全部同じにならないように一つ置きに重さが来るようにします。

104ページに出て来るnur、Zuversichtのuの発音が浅くならないように注意しましょう！

来週は次のDas ist je gewisslich wahr, SWV388も練習します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

来週3月12日の発声個人レッスンは小沢さんです。

19日は未定、26日は黒田さん、4月2日は平石さんの予定です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年2月26日（水）

練習箇所

シュッツ

Musikalische Exequien

Nacket bin ich von Mutterleibe kommen, SWV279

人が集まるまで、久し振りにMusikalische Exequienの最初の方を復習しました。(7ページまで) 4週間振りでした。

記事

発声個人レッスンは辻村の予定でしたが、体調不良のため、急遽キャンセルさせていただきました。全体発声は32分。

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

先週は第1節だけでしたが、今日は第3節まで全曲言葉を付けて歌いました。言葉に慣れるために、ゆっくりと何度も繰り返し練習しました。106ページの最後まで歌うと第1節が終わり、最初のページに戻ると第2節があります。

戻るのを忘れて次に行ってしまうと第3節になり、言葉が違うので気を付けましょう！

Das ist je gewisslich wahr, SWV388

最初に言葉を読んでから、言葉を付けて歌いましたが、120ページ下段のフェルマータまでで時間切れになりました。116ページ3小節目最初のテノールの音はBです。(直前の音と同じ)

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 柿沼 片岡
バス：大庭 中西
欠席：4人(ソプラノ2名、テノール1名、バス1名)

備考

来週3月5日の発声個人レッスンは辻村、26日は平石さんの予定ですが、12日と19日は未定です。希望者は辻村までお申し出ください。

今日は4人も欠席者がありましたが、全員お仕事の都合でした。体調をくずされたわけではなくて良かったです！

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年2月19日 (水)

練習箇所

シュッツ： Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

Das ist je gewisslich wahr. SWV388

Selig sind die Toten, SWV391

Die mit Traenen saeen, SWV378

o fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。全体発声は43分。

★SWV387

最初にヴォカリーゼで全曲通して音を確認後、言葉を読み、第1節だけ言葉を付けて歌いました。第2・第3節の言葉は来週。

★SWV388

ヴォカリーゼで音取り。

★SWV391

ヴォカリーゼで音取り。

★SWV378・379は、2年前に歌っているので言葉で。初めての人はヴォカリーゼで。

これで一応全曲、音を出してみました。来週はSWV387・388を練習します。

今日は水野先生が作って下さった訳を配布しました。SWV378・379・387・388・391

昨年の定期演奏会のCDが出来ました。希望者は平石さんまで。千円です。

8時頃から総会を行いました(15分程)

♪ 演奏会の会場について・・・今年も同仁教会に決定。

♪ 団員募集について・・・不足していると思われるパートを中心に募集。特に定員は設けない

♪ 団名について・・・変更反対の人が一人有り、今年も見送りになりました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

来週の発声個人レッスンは辻村の予定です。

 [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2014年2月12日 (水)

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien

Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

Herr, nun laessest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281

シュッツ : Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。全体発声は32分ほど。

★SWV280

短いiの発音に注意。前に当て過ぎず、上の響きで。ich、dich、nichts、Himmel等。

ErdenやHimmel等、語尾の母音は曖昧に！

Erden、Seeleの最初のeは長母音ですが、くれぐれもイーになり過ぎないように！

duの母音が気になります！

★SWV281

欄外に時々fortiter、submisceというラテン語の単語が書かれていますが、fortiterは「強く」、submisceは「抑えて」という意味です。

★SWV387

ヴォカリーゼで音取り。2度通しました。来週、言葉を付けます。

Musikalische Exequien, SWV279・280・281の訳を水野先生が作って下さいました。

訂正箇所

♪ 14番の訳の最後の行の「巻き込まれ」を→「明け暮れ」に。

♪ 23番の訳の下にある単語の説明で、右側のdarnieder=herabの部分のdarniederは、daniederに直して下さい。

残りの曲SWV378・379・387・388・391の訳も来週配布します。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 中西 山村

欠席：1名(テノール)

備考

来週の発声個人レッスンは柿沼さん、それ以降は未定です。希望者は申し出て下さい！

来週は8時から(30分程?)総会を行います。

2014年2月5日（水）

練習箇所

シュツツ：Musikalische Exequien

1. Herr, nun laesest du deinen Diener in Frieden fahren, SWV281
2. Herr, wenn ich nur dich habe, SWV280

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は31分。

SWV281は初めてなので、ヴォカリーゼで音取をしてから、言葉を付けて歌いました。

SWV280は先週から。一度全曲を通して歌いました。

49ページの終わりから52ページまで、duという言葉が何度も出て来ますが、uの発音が浅くならないように気を付けましょう。久し振りに目立っていました！ いつもは気にならないパートからも浅いuが聞こえていました…！！

★楽譜の訂正

SWV279の28ページの418、424小節のHerzenは、最後にsを追加してHerzensにしてください。

SWV280の51～53ページにも同じ言葉が出て来ますが、こちらはsを付けずに楽譜通りにHerzenで歌います。

★新しい曲（コピー譜）を配布しました。

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387と、Das ist je gewisslich wahr, SWV388が一冊になっています。これで全部です。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 中西 山村

欠席：0

備考

久し振りに全員出席でした（12月25日以来です！）。その上、中西さんのご主人様が見学に来られ、練習に参加して下さいました。練習後の打ち上げにも！ 来週からもずっといらしていただけると嬉しいですね…！？

来週の発声個人レッスンはアルトの大庭さん、再来週は柿沼さんです。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年1月29日 (水)

練習箇所

Musikalische Exequien, SWV279

17番～27番

1番～16番

SWV280 Herr, wenn ich nur dich habe

記事

発声個人レッスンはバスの大庭さんでした。全体発声は23分。

SWV280 Herr, wenn ich nur dich habe

ヴォカリーゼで全曲音取をしてから、言葉を付けて歌いました。初めて8声の曲に挑戦です！

来週はSWV281も練習します。5声のChor1は上からアルト1、アルト2、テノール1、テノール2、バス2が歌い、3声のChor2はソプラノ1、ソプラノ2、バス1が歌います。

追加の曲のコピー譜を2種類配布しました。

1. Die mit Traenen saeen, SWV378、So fahr ich hin zu Jesu Christ, SWV379

2. Selig sind die Toten, SWV391

来週もう1種類配布します。Herzlich lieb hab ich dich, o Herr, SWV387、Das ist je gewisslich wahr, SWV388
これで全部です！

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡

バス：大庭

欠席：1人 (バス1名)

備考

発声個人レッスン：

2月5日：堀江さん

2月12日：大庭さん（アルト）

2月19日：柿沼さん

?訃報

先週22日まで毎週練習に参加されていたアルトの宮崎さんが、27日朝急死されました。84歳でした。アマデウスには1986年からずっと連続して参加されていました。最近は渋混にも参加され、合唱の他にもピアノ・英会話・パッチワーク・旅行等、お元気に色々なご趣味を楽しまれていました。

30日に通夜式、31日に告別式が行われ、渋混やアマデウスの団員もお別れに行ってまいりました。棺の中は、渋混とアマデウスで練習中の楽譜やたくさんのお花で埋め尽くされていました。

宮崎さんは、いつもの練習場が使えない時には場所を提供していただいたり、休日練習にはお菓子の差し入れを、クリスマスにはプレゼントを全員分用意して下さったり、他にも色々気配りをして下さり、アマデウスを大変愛して下さっていました。

宮崎さん、今まで本当にお世話になり、ありがとうございました！どうぞ安らかに眠りください。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2014年1月22日（水）

練習箇所

練習曲 シュッツ：Musikalische Exequien, SWV279

記事

2階の部屋が寒いので、今日から3月いっぱいまで3階C室での練習になりました。発声個人レッスンは大久保さんでした。全体発声は42分。

新しい曲

26番、27番

ヴォカリーゼで歌ってから言葉を付けて歌いました。

復習14番～25番

先週まだ言葉を付けていなかった22番も、言葉を付けました。

★43ページ上段最後の小節で、第2テノール3拍目のDは付点四分音符です。付点が抜けているので書き込んでおいて下さい。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 名阪 中西
アルト：大久保 大友 堀江 宮崎
テノール：小沢 翁長 柿沼
バス：大庭 山村
欠席：4人（ソプラノ2名・アルト1名・テノール1名）

備考

来週の発声個人レッスンは大庭さん（バス）です。

26日（日）は水野先生指揮の東京クリスマス・オラトリオ・アカデミーの演奏会です。アマデウスからも「クリオラ」の団員として3人参加していますので、お時間のある方は聴きに行きましょう！

一昨年のアマデウスの演奏会で取り上げたブクステフーデのMembra Jesu nostriの演奏会が、2月6日（木）にルーテル市ヶ谷センターであります。

声楽アンサンブルLa Fonteverdeの演奏会で、ソプラノ：星川美保子・鈴木美登里、アルト：上杉清仁、テノール：谷口洋介、バス：小笠原美敬。

下記のアドレスからチケットを申し込む事が出来ます。

LA FONTEVERDE

<http://www.lafonteverde.com/>

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年1月15日（水）

練習箇所

シュツツ：Musikalische Exequien SWV279

20番 Alt, Tenor1, Tenor2, Bass

21番 Capella

22番 Bass1, Bass2 (言葉はまだ付けませんでした。)

23番 Capella

24番 Tenor1

25番 Capella

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。全体発声は40分。

★21番のアルトの出だしの音が取りにくいようですが、伴奏の左手やソプラノ1が先に音を出しているの、よく聞いて出しましょう。441小節は伴奏の左手が一拍目に次のアルトの音を出しています！

SWV279は、あと26番と27番で音取りが終わります。続いてSWV280に入りますので、予習をお願いします。いよいよアルトも2声に分かれます！

SWV281は、最上段のMezzosopranパートをAlt1、上から2段目のAltパートをAlt2が歌います。

アルトのパート分け

1・・・大友・堀江

2・・・大久保・大庭・宮崎

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 宮崎

テノール：小沢 翁長 柿沼

バス：大庭 山村

欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大久保さんです。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2014年1月8日（水）

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien, SWV279

記事

今年初めての練習でした。発声個人レッスンは宮崎さんでした。全体発声は45分。新曲の音取り

15番 Tenor 1, Tenor 2

16番 Capella

17番 Alt

18番 Sopran 1, Sopran 2, Bass

19番 Tenor 1

20番 Alt, Tenor 1, Tenor 2, Bass

復習

最初から14番まで

楽譜の誤り

★16番331小節最後のテノール2の言葉で、verのrが抜けてveになっているので、rを書き加えて下さい。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江 宮崎
テノール：小沢 翁長 柿沼
バス：大庭 山村
欠席：2人(ソプラノ・テノール各1名)

備考

来週の発声個人レッスンは平石さん、再来週は大久保さんの予定です。

♪ 演奏会のお知らせ

今月26日(日)に、水野先生指揮の東京クリスマス・オラトリオ・アカデミーの演奏会があります。場所は紀尾井ホールで、午後1時半開演です。曲はJ.S.バッハのヨハネ受難曲です。チケットは堀江さんか大久保さんへ問い合わせして下さい。

 [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2013年12月25日 (水)

練習箇所

Musikalische Exequien, SWV279

記事

発声個人レッスンは大友さんでした。全体発声は40分程。

新しい曲はNr.13(ソプラノ1・バス)とNr.14(Capella)の音取をしてから、言葉も付けました。先週言葉を付けなかったNr.11も言葉を付けて歌い、今までに練習した曲を最初から全部歌い、年内最後の練習を終えました。

出席者

ソプラノ：黒田 繁松 辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 堀江 宮崎
テノール：小沢 翁長 柿沼 片岡
バス：大庭

欠席：3人(ソプラノ・アルト・バス各1名)

備考

新年最初の発声個人レッスンは宮崎さんです。

今日は今年の歌い取めでした。残念ながら全員出席とはいきませんでした…。練習後は「弁慶」で忘年会を行い、水野先生をはじめ13人が参加して楽しく盛り上がりました。来年も全員揃って元気で練習に参加出来ますように！

冒頭へ

月初の練習日に移動

2013年12月18日 (水)

練習箇所

Schuetz: Musikalische Exequienの12番まで。移動ドの階名読みで音取をしてから言葉を付けました。(11番はまだ言葉を付けていません)

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。全体発声は40分程。

★ 9番111小節の第1ソプラノのAの音は半分にします。(二分音符と二分休符)

★ この曲に何度も出て来るerbarm(en)のeは長音ではありません！ 前綴りのerは、決して長音にはなりません！！ erwuergのerも同じです。

出席者

ソプラノ：繁松 辻村 中西 平石 (徳平) (黒田)

アルト：大友 大庭 堀江

テノール：翁長 柿沼 片岡

バス：大庭 山村

欠席：4人(ソプラノ1名・アルト2名・テノール1名)

備考

来週の発声個人レッスンは大友さんです。

★ 東京クリスマス・オラトリオ・アカデミーから黒田さんが見学に来られ、発声から最後まで練習に参加して下さいました。定演前の11月13日に一度見学に来られた銀行合唱団の徳平さんも、今日は練習に参加して下さいました。

★ 8時頃から短く総会を行いました。役員と指導者は今までと同じです。残された議題は、事務局の大久保さんの骨折が回復してから、再度総会を行う事になりました。

★ 来週は今年最後の練習です。練習が終わってから忘年会を行う事になりました。お店はいつも練習後に寄って

る「弁慶」です。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2013年12月11日（水）

練習箇所

シュッツ：Musikalische Exequien SWV279

記事

定演後の初練習でした。

発声個人レッスンは大久保さんの予定でしたが、骨折の為急遽キャンセルになりました。全体発声は37分。

今日は7番まで階名(移動ド)でパートごとに音取をしてから、言葉も付けました。そのあと9番も一応最後まで歌ってみました。言葉はまだ付けませんでしたが…。

★パート分け

ソプラノ1：繁松 辻村 中西（黒田）

ソプラノ2：名阪 平石（徳平）

テノール1：小沢 片岡

テノール2：翁長 柿沼

8声の曲(SWV280・289)はアルトとバスも1と2に分かれますので、近日中にお知らせします。

出席者

ソプラノ：繁松 名阪 辻村 中西 平石

アルト：大友 大庭 堀江 宮崎

テノール：翁長 柿沼

バス：山村

欠席：4人(アルト1名・テノール2名・バス1名)

備考

来週の発声個人レッスンは堀江さん、再来週は大友さんの予定です。

アルトの落合さんは休団との事です。

来週はソプラノに三菱の徳平さん(一度見学に来られました。)と、クリオラの黒田さんが練習に参加されます。

★クリスマスコンサートのお知らせ>

12月15日(日) 14時30分 茗荷谷キリスト教会

水野先生がピアノとオルガンで伴奏を弾かれます。

12月21日(土) 18時 カトリック目黒教会

ソプラノの名阪さんがフラウト・トラヴェルソで出演します。